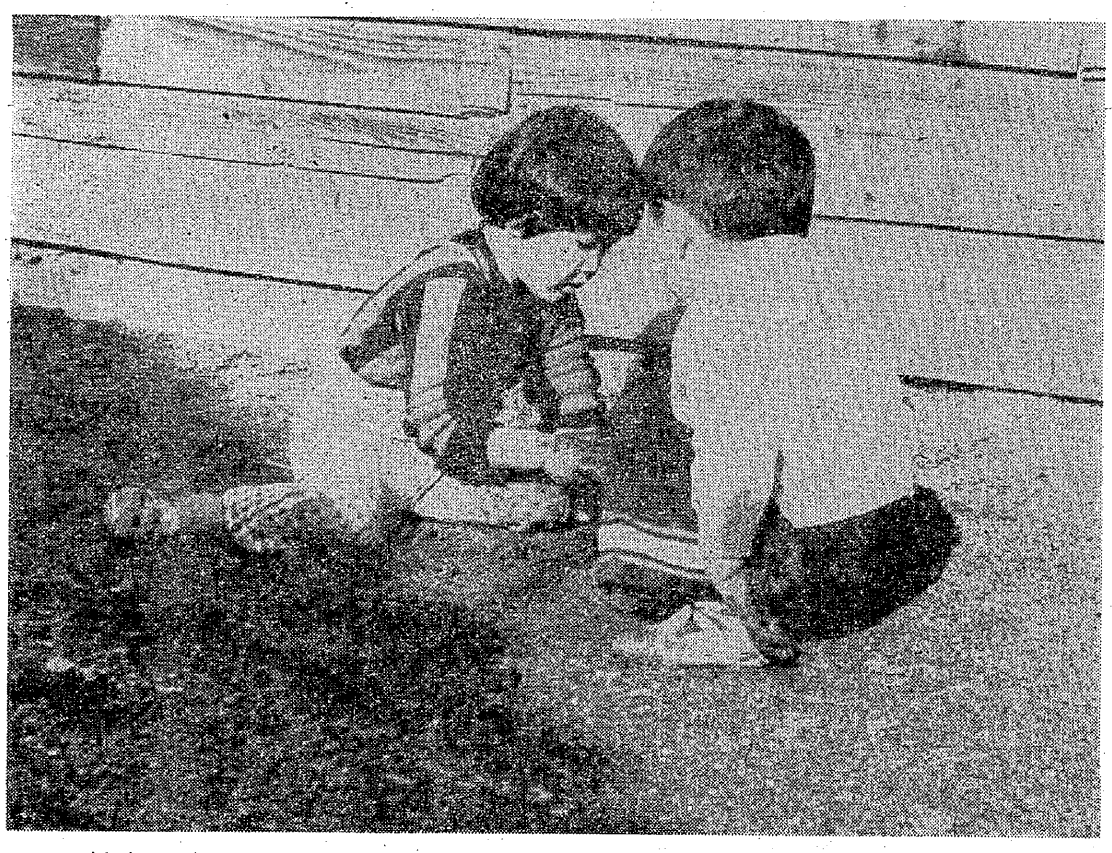
期末闘争の妥結に

職場から家庭から



社宅の幼な児二人。一日じゅう、こうしてお友だち同志楽しみながら、けんめいに生きている。のびのびと育てたいものだが……。

破棄しよう平和協定

現状が打ち続くかぎり 労働はきつく生活は真っ暗

炭労の期末手当闘争は、七月二十四日三十四万八千円（期末手当三十三万八千円。福利厚生資金一万円）の回答（要求額は四十万円）をもって妥結した。この妥結に対して、また今後このような闘いをどうすすめるか、を考えるためにも、さらに広く率直な声や考えを集めることこそ大切だが、サテ職場や家庭から寄せられた声は――？

四山鉱の転場から

――こんなに低額な回答で期末手当がおさえられては、残念だ。三十四万八千円というが、私たちは手取りの二十六万円ぐらいしかないのではないかと思う。

これでは、車のローンを払えばあとわずかしか残らん。家には妻と、子どもが一人いるが、盆休みぐらいどこかに遊びにつれていってやろう、と思うとったがそれもでけん。

会社と、新労が平和協定を結んでいてストはせんけん、なかなか要求が通らんのだと思う。いっしょうけんめいがんばりよらす三池労組ン人たちに、気の毒うしてならん。自分たちもなんとかして平和協定ば破棄して、三池労組ン人たちといっしょにがんばらんと、このままじゃ、どげんもこげんもでけん。今、仲間と話しよるところたい。（坑内電気工。28歳。新労組員）

三川鉱の転場から

――期末手当闘争にはいる時期が遅い。ほかの企業では、すでに支給すみのところもあるように、早く妥結せんと跡がないという感じだった。（三池労組員）

――要求額自体、アンケートを取って、組合員がほしい金額、これなら闘える、というところでき、めるべきだ。炭労がアンケートを取らんなら、三池だけでも真実の声を聞くために取り組むべきだ。（右同）

――ちょうど、支給日より逆算してきめたような、闘争スケジュールの立て方だ。そんなものでなくて、たとえ日割り計算では損するようなことでも、次の期末の増額獲得のためならやらにゃ――。（右同）

――前回なみだったので、まアまアだな。それに解決するには、早い時間よい。真夜中過ぎではなア。（右同）

――こんどは、三池労組もストライキにはいらんやったな。でも、「ストライキをうつぞ、うつぞ」と、あんたどんがかまえてくれたげんこそ、あがしこでん取れたつばん。（新労組員）

――俺がえの組合幹部の話では貯炭も多いし、会社も苦しい、ということじゃったが、妥結はあんなところじゃないかな。（右同）

家庭から

――会社は、株主配当までしてもうけよる、との話を聞いたですが、なし、こげん少なか回答しか出さんとやろか。

よそのやまが次つぎに閉山になって、三池は「よか」と聞いて大牟田にきたですが、父ちゃんは、仕事は今までのうちで一番きつかといって、きたのを悔やむとですよ。それに、賃金も期末手当もちっとも上がらず、生活は苦しくなるばかり。

頼む父ちゃんも、あと四年で定年。今のままでは、退職金も上がらなくて期待されず、高校生の娘をかしらに子どもが三人いますがお先真っ暗です。（四山鉱に働く新労組員の家の主婦の話）

×

何といっても平和協定を破棄して、三池新労組員といっしょに手を取り合いながら歩くことこそが何よりも先決だ、ということが右の声にハッキリと示されている。

豆情報

大平首相、一般消費税か所得税増税かとおどし。入る前に取るか、入ってからとるかの違い。

×

公定歩合一％引上げ。金融機関のもうけ分がごっそり自民党の選挙資金に、との勘ぐりも。

×

"石油危機"は本当か。OPECの供給量は四～六月は増加。監視体制の強化こそ必要。

×

防衛白書がソ連の脅威強調。"狼が出た"と騒いでいるのは少年ならぬ本当の狼ということ。

×

勝共連合の"募金活動"が活発に。こちらは羊をよそおった黒い狐。

×

総評大会始まる。酷熱の職場に働く者の声なき声の「参加」を。期待することしきり。

――以上連合

加わる核兵器の脅威

緊急性加わる原水禁運動

待望の統一のもとに、原水爆禁止世界大会の季節がやってきた。原爆被爆地＝長崎をもつ九州では、労働組合の諸組織を中心に、長崎で開催される世界大会を成功させるための歩みが、いよいよ速度を加えてきた。"被爆三十四周年原水爆禁止、九州縦断キャラバン"は、長崎大会をめざして早くも大牟田を過ぎていった。

キャラバン 大牟田を通過

いよいよ緊急性を増した原水爆禁止を訴えるために、七月十二日鹿児島をスタートした"被爆三十四周年原水爆禁止、九州縦断キャラバン"が、二十三日大牟田を通過。柳川―佐賀、と訴えながら長崎の世界大会の当日、同市入りを果たし、大会にのぞむことになっている。

鹿児島から、この炎天下を歩き続けてきたのは、長崎の学生の山内智晴さん（22歳）。被爆二世だと聞いた。

山内さんは熊本から歩いてきたが、大牟田からは新たに編成された約八十人の行進団と一つになって、次の柳川へ向けて元気に去っていった。

大牟田ではその日早朝、市役所前に労働者が中心となって集まり

九州縦断キャラバン、大牟田をスタート

スタート前に集会を開催、平和の誓いを新たにした。

現在世界は、ますますエスカレートしていく核軍拡競争がはらむ重大な危険にさらされている。とくにわが国は、アメリカの核による世界支配のための戦略に、歴代自民党政府の手で一辺倒に従属させられている。それどころか、世界で唯一の被爆国でありながら、むしろ協力させられてさえいる。それだけに、核兵器、原水爆の重大な脅威から、絶対にのがれようのない状態にしばられている。

今こそ、核兵器の完全禁止・使用禁止の達成、さらにわが国の場合「持たず、造らず、持ちこまず」という非核三原則の法制化など、まだ放置されている被爆者救済のための援護措置の確立とともに勝ち取ることが、原水禁運動にとって緊急課題となってきた。

さて、長崎の世界大会をめざしながら大牟田を過ぎていったキャラバンは、現在も炎天下の町や村を歩き続けているに相違ないが、同キャラバンとともに、すべての原水爆禁止世界大会の成功と運動の統一的発展を祈ってやまない。

発行所
三池炭鉱労仂組合
大牟田市不知火町2
電話(53)3033番
(53)3034
編集兼発行人　前川哲也
半年間1,200円　送料共

裁判公判日程

三池大災害裁判公判　九月十七日午前十時半から福岡地裁で。前回にひき続き、CO患者家族が証言台に立つ。

上村裁判公判　右と同月同日午前十時から福岡高裁で。

九・二八坑内火災裁判公判　十月十一日午後一時十分から福岡地裁で。

×

なお、各裁判とも重要な段階です。傍聴には積極的に参加しましょう。